

北海道浮魚ニュース

平成 16(2004)年度 18 号 (通巻 No.182)

2004 年 9 月 21 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

オホーツク海サンマ漁期前調査結果

沖合に中型魚主体のサンマ 水温低く、沿岸に強い潮境

9 月 13 日～16 日に稚内水産試験場試験調査船北洋丸でオホーツク海(雄武～ウトロ沖)のサンマ漁期前調査を実施しました。結果概要は以下のとおりです。

1 表面水温 - 沖合低温、沿岸高温
海洋観測点での表面水温は 9.8 ~ 19.7。もっとも岸寄りの観測点は宗谷暖流の中にあり、その沖合の点との水温差は大きく、強い潮境ができています。沖合は全体に低温で、すでにサンマが分布する水温帯が広がっています(図 1)。

2 探索・目視 - 知床の沖合で散見
夜間、航行しながらの探照灯による魚群探索調査では、サンマのハネは、ほとんど見られませんでした(図 2)。
停船して目視した観測点 16 点のうち 13 点でサンマは皆無、わずかに知床半島の北、もっとも沖合の 2 点で数十尾(散見)、1 点で数尾の魚群が見られただけでした(図 2)。沿岸の潮境付近ではサンマの魚群を発見できませんでした。
スルメイカは、ほとんど目視されませんでした。

3 漁獲調査 - 中型魚主体

サンマの散見魚群が目視された知床半島沖の 2 点(図 2)での流し網(網目の大きさ 29mm と 37mm)による漁獲試験で、中型魚(体長 24 ~ 28cm 台)主体の体長範囲 20 ~ 31cm のサンマが採集されました(図 3)。また、たも網では同所で体長 17 ~ 33cm のサンマが採集されました。

同時に漁獲されたスルメイカ(2尾)の外殻長は 12cm でした。

9 月下旬に、今期の「オホーツク海サンマ漁況見通し」をお知らせする予定です。

(文責 : 網走水産試験場資源管理部、TEL:0152-43-4592、FAX:0152-43-4593)

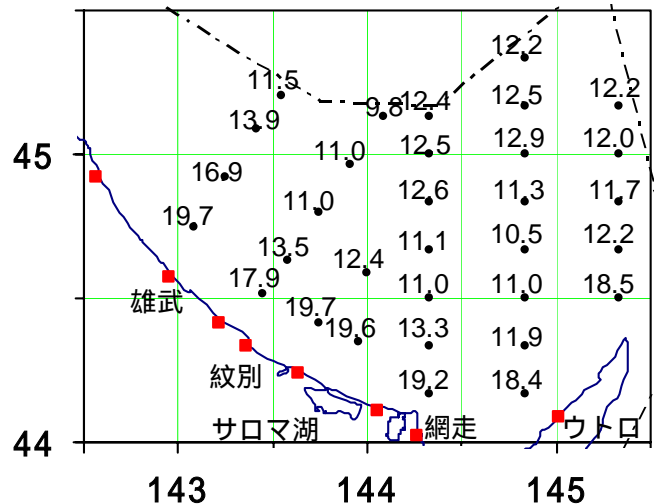


図 1 表面水温() 2004 年 9 月 13 日～16 日

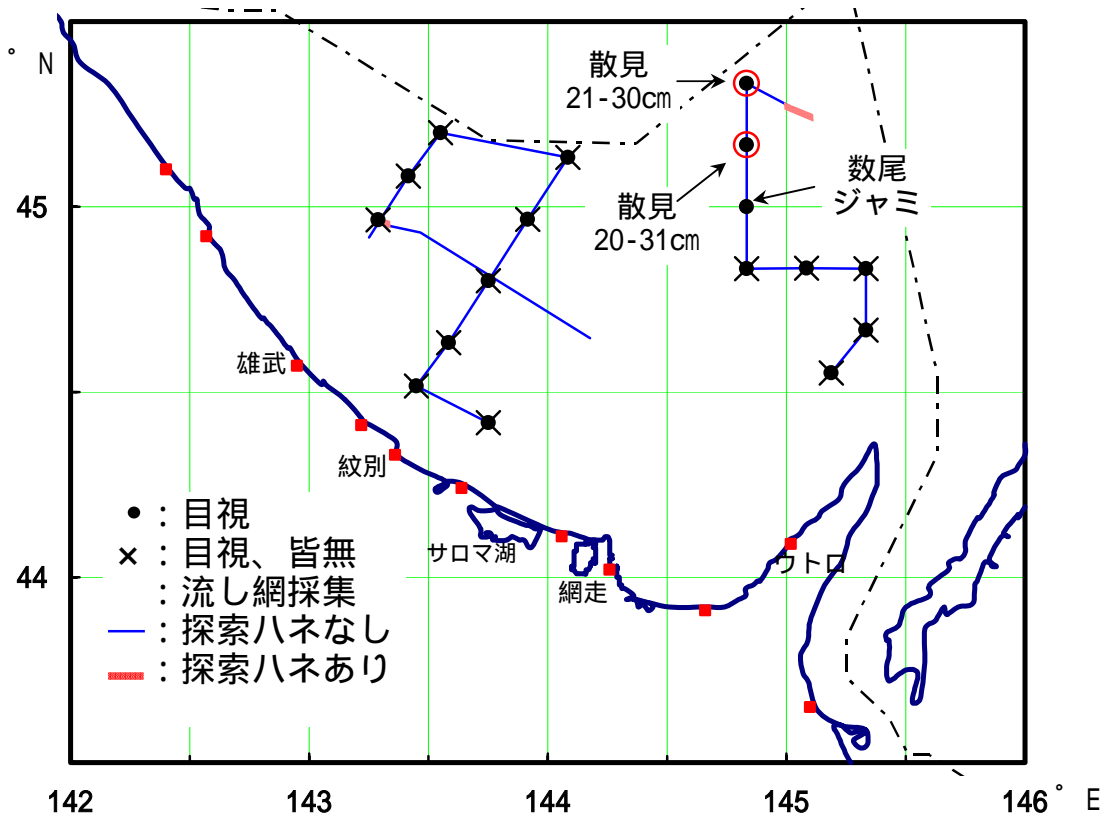


図2 サンマ魚群探索・目視・漁獲調査結果 2004年9月13日～16日
 数字 (cm) は流し網で採集されたサンマの体長範囲

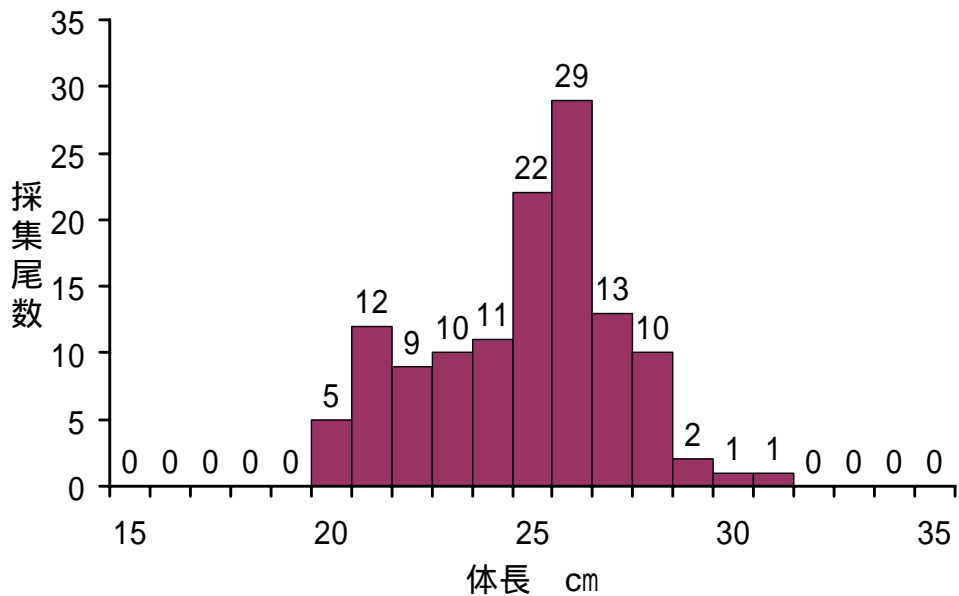


図3 流し網で採集したサンマの体長組成
 図2の散見・流し網実施調査点2点の合計。網目の大きさは37mmと29mm、
 それぞれ、のべ3反使用。